



▲98歳のプレイヤー

ながはら たくろう  
長荒勝太郎さん(大上)は、98歳で地域のグラウンドゴルフチームの現役選手です。グラウンドゴルフ歴30年を超えるベテランで、市老連や市長杯の大会では豊富な経験を生かし、活躍しています。健康の源は「適量の晩酌と適度の運動」と笑顔で話していました。 【吉江 旭】



▲子育てを応援します

11月14日、北の台地区センターで未就園児を対象におはなしぼっぼの「おはなし会」が開催され、9組20人の親子が参加しました。参加者は、始まりの歌「ひげじいさん」を全員で歌った後、絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び、牛乳パックで作ったトンボ飛ばしなどを楽しみました。 【福島 順一】



▲うれしさいっぱい・たのしさいっぱい

11月22日、落合小学校で落合っ子ふるさとまつりが開催されました。春日台中学校和太鼓部の皆さんの和太鼓で開会。校庭では、子どもたちやPTA、地域協会などによる焼きそばやうどんなどの販売、大声コンテストなどが、体育館では、茶道クラブによる茶会やバザーなどが行われました。 【福島 順一】



▲紅葉と落ち葉

11月27日、黄色く色づいたイチョウ、赤い色が深まったモミジ、じゅうたんのよう敷き詰められた落ち葉。どこからか鳥の鳴き声が聞こえてくる雨上がりの早朝、静寂の城山公園で季節を感じました。 【高橋 元】



▲心安らぐ一木彫り

いちぼくぼ  
11月中旬、仏像などを彫る大澤三千男さん(深谷中)を訪ねました。大澤さんは「定年を機に何か打ち込めることを」と木工彫刻を3年前から始めました。一本の材木から彫り出す「一木彫り」の材料は、イチョウや青森で調達したヒバなどです。近所の方に頼まれることもあり「喜んでもらえることが生きがい」と話しました。 【馬場 正勝】



▲キムチの素「ヤンニョム」作り

11月21日、北の台地区センターでキムチの素となる「ヤンニョム」作りが行われました。蓼川地区社会福祉協議会が催し、地域の方など16人が参加しました。ヤンニョムは、家庭でのキムチ鍋などに使うと、少しピリ辛の味を堪能できるそうです。 【大滝隆司】



▲感じたままを絵手紙に

11月27日、大上会館で「絵手紙づくり」教室が開かれました。地域の仲間が集う「こぶしの会」が開いているもので、今回のテーマは、シクラメンの花。同会は、絵手紙を通して地域や学校で交流を深め、見て感じたままに表現することの難しさや楽しさを感じてもらおうと活動しています。 【吉江 旭】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲農商工連携あやせ産業まつり

11月16日、市民文化センターで、あやせ産業まつりを開催し、約3万8000人が来場しました。会場では、農産物の品評会、地場産の野菜・豚肉・鶏卵などの販売、「豚すき」やポン菓子無料配布、店自慢の品の販売や製品PRなどが行われました。恒例の長さ9mもの太巻き作りでは、親子や家族など約20人が参加し、みんなで協力して一斉に巻き上げました。



▲冬を彩るイルミネーション

12月6日、市役所前広場で綾瀬イルミネーションの点灯式が行われました。冬の新たな観光名所を作り出そうと同イルミネーション実行委員会が開催したものです。点灯式では、秒読みとともに一斉に電飾が点灯。続いて市商工会主催のよさこい乱舞が披露されました。市役所前広場では1月11日まで点灯されています。

▲「馬〜ケット」で動物の温かさを感じて

うま  
11月30日、松ヶ丘ナーサリーまつり(寺尾中)で「馬〜ケット」が行われました。初めて馬に乗った子、動物に餌をあげている子、モルモットを抱っこしている子など、子どもたちは動物とふれあうことで、温かさを肌で感じていました。 【馬場 正勝】